



2022年4月28日

各位

会社名 栄研化学株式会社
代表者名 代表執行役社長 納富 継宣
(コード:4549 東証プライム)
問合せ先 専務執行役
経営管理統括部長 渡 一
(TEL. 03-5846-3379)

「EIKEN ROAD MAP 2030」及び新中期経営計画策定について

当社グループは、事業を取り巻く環境変化に対応するとともに、サステナビリティ経営の視点を取り込むため、経営構想「EIKEN ROAD MAP 2019」を見直し、2030年をゴールとして、新たに「EIKEN ROAD MAP 2030」として再定義いたしました。

2030年の当社グループが目指す姿に向かっていくためのスローガンとして、

「Beyond the Field ~ Team × Challenge ~」を掲げ、従業員一人ひとりがそれぞれの能力を高め自らが活躍できる領域を広げていくこと、その高めた個の力を、領域を超えて結集しチームでチャレンジすることで新しい可能性を生み出すこと、そして、現在の事業領域から一歩踏み出し、医療のプロセスにイノベーションを起こし、検査の未来を創っていくことを目指してまいります。

「EIKEN ROAD MAP 2030」では、現在の事業領域を中核事業としつつ、注力事業分野として「がんの予防・治療への貢献」、「感染症撲滅・感染制御への貢献」、「ヘルスケアに役立つ製品・サービスの提供」の3つを設定しております。

「がん」の分野ではより治療に直結する領域に、「感染症」の分野ではより簡易な検査技術の確立に注力いたします。また、「ヘルスケア」の分野では遠隔診療や在宅での検査に対応できる製品・サービスを拡大してまいります。

また、当社グループは、持続可能な社会の実現に向けて、優先的に取り組むべき11のマテリアリティ（重要課題）を特定し、具体的な行動計画に展開いたしました。社会課題の解決を通じて、さらなる企業価値の向上と持続可能な社会の実現につなげてまいります。

1. EIKEN ROAD MAP 2030

【中長期を見据えたビジョン】

■がんの予防・治療への貢献

当社グループは、これまで検診事業（予防と早期発見）に注力し、特に大腸がんではスクリーニングプログラムをグローバルに構築し、早期発見により死亡率減少と医療費抑制に貢献してまいりました。一方で、がんの治療には高額な医療費を必要とすることから適切な治療の選択が重要です。がんの予防・早期発見だけでなく、このような医療課題に対しても対応すべく、治療薬の選択や治療効果の判定まで網羅した検査システムを開発し提供することによって、がんによる死亡率の更なる減少を目指してまいります。

■感染症撲滅・感染制御への貢献

脅威となる感染症への対策として製品ラインアップを拡充し、グローバルでの結核やマラリアなど遺伝子検査システムを展開してまいります。また、より簡易で誰でもどこでも使える迅速で精確な感染症診断システムを開発することで、医療アクセスの向上に寄与してまいります。

■ヘルスケアに役立つ製品・サービスの提供

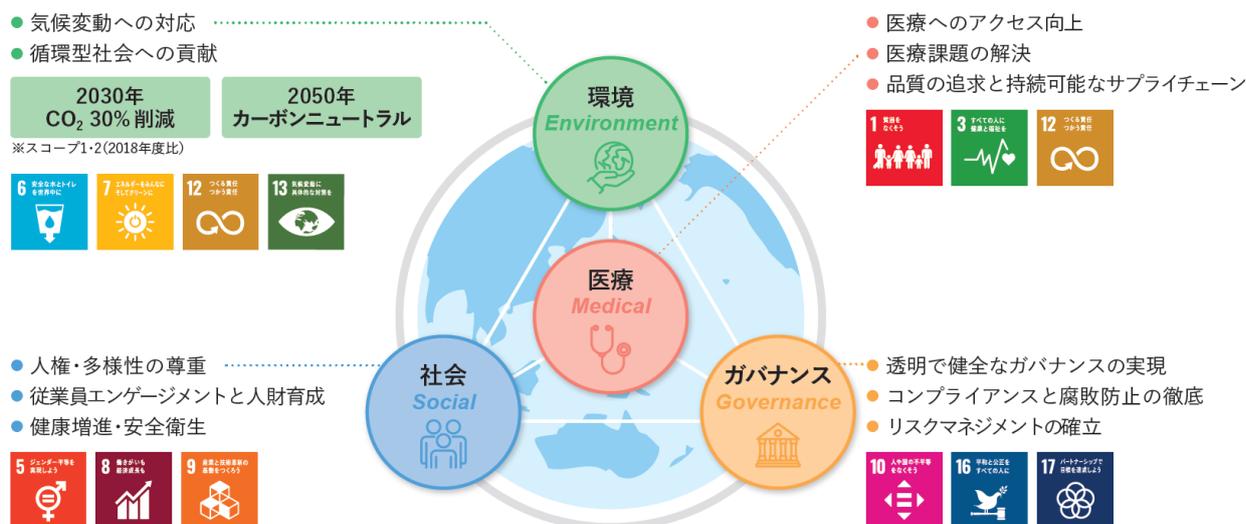
健康寿命の延伸に向けて、遠隔診療や在宅での検査の領域を広げて、モバイルヘルスへ発展させていきます。最終的には本人が意識しなくても健康状態を知らせてくれる暮らしに寄り添ったモニタリングシステムの開発を目指してまいります。

【財務目標（2031年3月期）】

	指標	目標
成長性	売上高	750億円
	海外売上比率	40%以上
収益性	営業利益率	20%以上
資本効率性	自己資本利益率 (ROE)	15%以上

【非財務目標】

世界の人々の健康を守る企業として「医療」の課題、そして「環境」・「社会」・「ガバナンス」の課題に取り組んでまいります。特定したマテリアリティについては、達成度を評価する指標（KPI）※を設け、進捗状況をモニタリングしてまいります。また、KPIの達成度を評価し、執行役の業績評価と報酬に反映してまいります。



※マテリアリティと KPI

https://www.eiken.co.jp/uploads/Materialities&KPIs_220428jp.pdf

2. 中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）

本計画は、「EIKEN ROAD MAP 2030」に向けた最初の中期経営計画であり、3か年の成長戦略です。本計画では、「EIKEN ROAD MAP 2030」のビジョンに従って重点施策を設定し、加速する医療のパラダイムシフトに答えてまいります。そして、経営基盤の強化を進めるとともに、人財にフォーカスした経営を推進し、社員のやりがい・働きがいを高め、イノベーションを創出できる環境を整備し、持続的な成長と着実な収益性の向上を目指します。

【注力分野と重点施策】



【持続的成長に向けた経営基盤の確立】

■ 人財戦略

役割・専門性をより重視した賃金制度、従業員のチャレンジ志向を高める評価制度へ移行し、従業員のやり甲斐・働き甲斐を追求します。

■ 機構改革

顧客は「グローバル」の共通認識のもと、業務プロセスの最適化と意思決定スピードを意識した体制を整備します。

■ IT 戦略

AI・ロボットを積極的に導入・活用し、製品・サービスをはじめ、あらゆる業務プロセスでDXを推進します。

■ 財務戦略

目標キャッシュ・コンバージョン・サイクルを設定し、事業投資のための資金効率の改善と資金調達が多様化を進めます。

■ ガバナンス

長期的な企業価値向上に資する健全な経営を目指し、ESG 施策を強化します。また、統合報告書の発行をはじめ、透明性の高い積極的な IR・PR を進めます。



【財務目標（2025年3月期）】

	指標	目標
成長性	売上高	435 億円
	海外売上比率	25.8%
収益性	営業利益率	14.4%
資本効率性	自己資本利益率 (ROE)	9.2%

おことわり

将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。

以上